

Youth
Women
Disabled
Farmers
Ainu People
Researchers
Business
NGO/NPO
Cooperative
Local Community

研究者グループ

というよりも、そうしている個人の想い 😊💧

世話役：山中康裕




1) 研究者グループの位置づけ 【未来を作るやり方を示す責務】

①欲しい未来(場所)へ②行く(速度)には③新しい仕組み(加速度)を生み出す



→ 最初の一歩: [Output] 多世代での決め方や決めたい/べきこと
[Outcome] 多世代で決める新しい社会(欲しい未来)

国連75周年の3つの問い③そのギャップを埋めるためには、どのような行動が必要か。  一緒に つくろう 私たちの 未来

- ✓ 研究者は、その能力や立場を活かし、人々を繋ぎ、持続可能な世界や人々の幸せを構築する責務を担う。 社会の在り方を問う世代・立場を超えた議論・提言をする **集団づくり**
- ✓ 学校教育の意義・内容の見直し、および、 **大人の学びの創出**
- ✓ データを得て、共有し、議論し、行動し、検証する柔軟な仕組みの創造 → 「**行動しない=不作為の罪**」

2)これまでの取組み 【対話の場の創造】

①未来の作り方：

バックキャストिंगの概念整理： やること・仕組み作り＝速度・加速度

②気候次世代100人会議in北海道 【2022年度：昨年度報告】

既存の仕組みと接続する10-20歳代世代の声の届け方

③北大×STV: 欲しい! 共につくる 未来道内高校生“未来の共創チーム”による発表

道内9高校から参加した21人が高校混成チームを作り、オンラインで計40時間の議論

④北大well-beingコンパスプロジェクト 【2020-2022年度】

Well-being



新しい大人学び「ひとりひとりが人生の主役それを大切にしようよ」

わたしたちと食料システムサミット 【2021-2022年度】



素朴な疑問「私たちの出来ることってなに？」



Well-being
コンパスプロジェクト

私たちの未来を共につくる会議：

Co-Creating-Our-Future Meeting (CoCOFuM)

北海道スケールのオンライン/対面形態

私たちの故郷を共につくる場：

Co-Creating Our Home Place (CoCOHoP)

地域(市町村)スケール

残念ながら、予算獲得ができていない...

3) それぞれの立場から見た切実な社会課題 **【見通しが見えない不安】**

2050年に向けて、**社会改革(Social Transformation, SX)**が避けて通れないのに…

1. 人々の暮らしがどうなるかの将来イメージがない

Society 5.0のような科学技術だけが先行しており、ひとり一人のwell-beingな暮らしが見えない

2. 都市と地方との関係(特に中核都市の位置づけ)が見えない

地方と中核都市(地域中心都市)の関係に関する2050年までの長期ビジョンが必要

3. 学校教育の将来イメージが見つからない

北海道のどこにいても自宅から高校に通える保証が欲しい

4. **セクター・世代を超えた話合いの場がない**

【SXに向けた唯一無二の解決策】世代・セクター・性別・地域を超えた話合いの場が必要

例：現在のバス会社・タクシー会社は、ドライバー高齢化や人員不足で悩まされ、低炭素車なんて買えません。2040年頃に自動運転の電気自動車等ができるならば、バス会社・タクシー会社が破産・廃業するのではなく、新しい移動手段を提供するサービス(MaaS)への促す施策が必要。

一民間企業の自助努力やその助成をするレベルではなく、そのような転換をどうしていけばよいか、社会として議論が必要。【JRも同様】

(私の母は、北大近くに住んでいても、当日、タクシーが捕まらず、ワクチン接種会場に行けず)

北海道庁: 2050年北海道温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた懇話会 座長として R4年度資料2

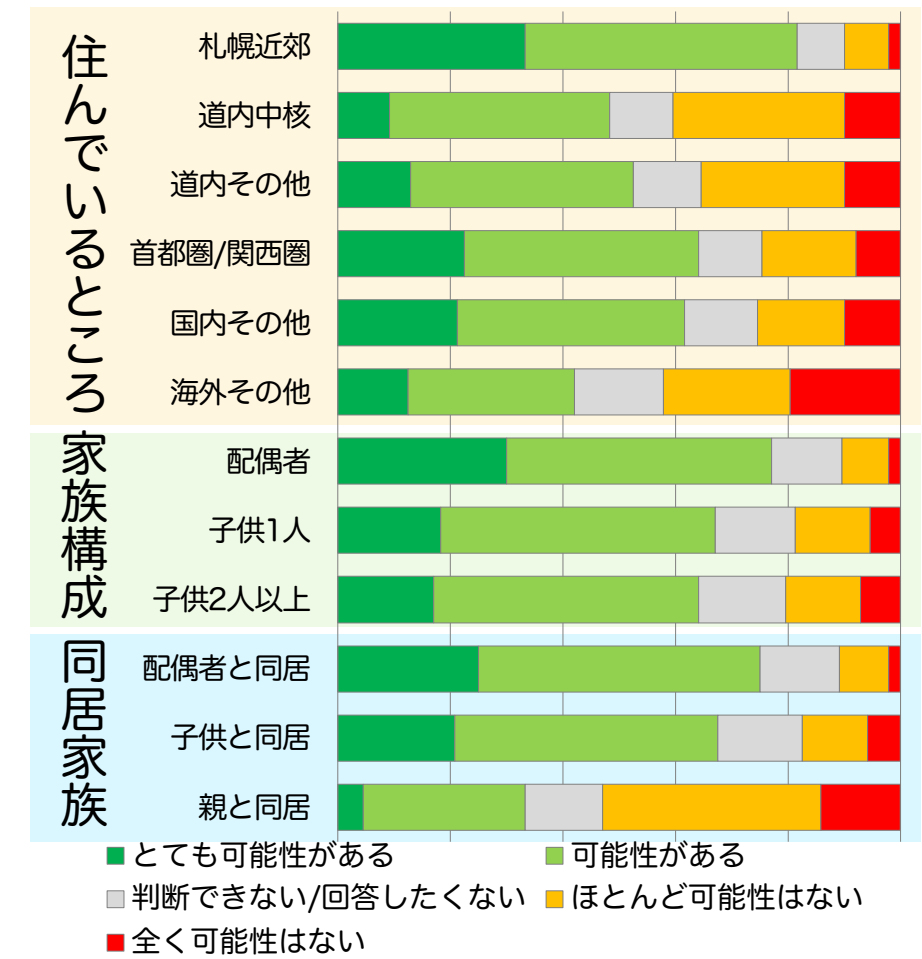


4) 達成したい目標と指標案 【次世代への不作為の罪にならないように】

気候正義(climate justice) → 世代間正義(intergeneration justice)

2050年大切にしたいこと

2050年 0% 20% 40% 60% 80% 100%



道内中核都市は、海外並の可能性

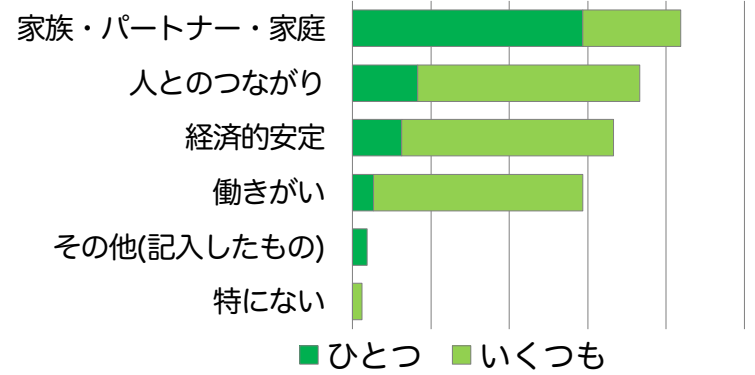


報告書は
ダウンロード
出来ます。

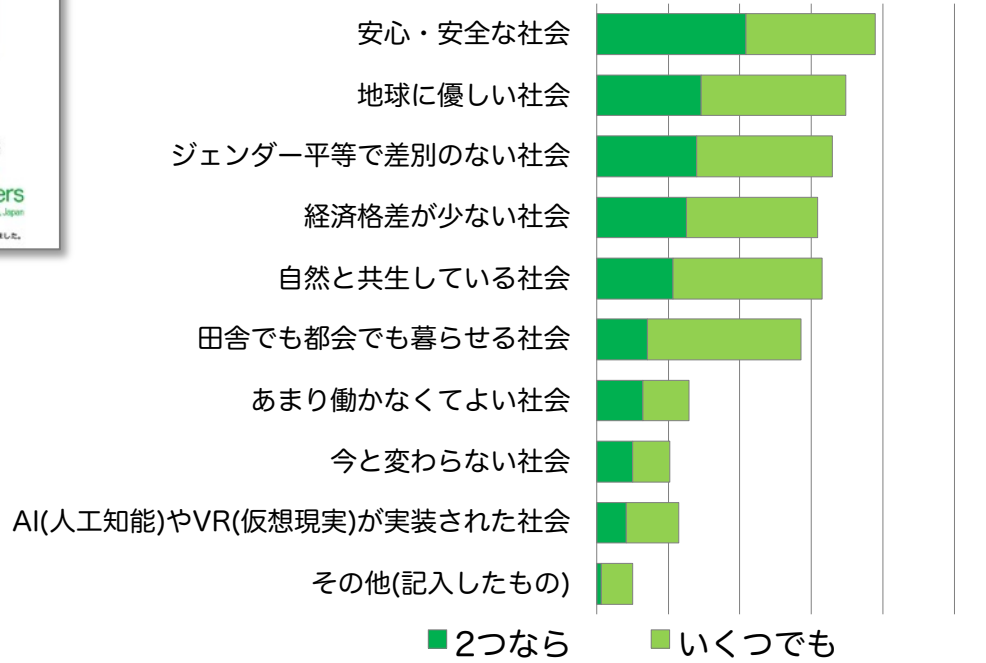


<https://onl.la/Dvyghkh>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



2050年欲しい社会 0% 20% 40% 60% 80% 100%





ご清聴ありがとうございました。

2022.4.22 Earth Day



北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授 山中康裕
国連大学認定RCE北海道道央圏 副代表

ゼロカーボン北海道推進協議会、北海道環境審議会温暖化対策部会、北海道温暖化効果ガス排出量実質ゼロ懇話会、北海道環境教育等懇談会、札幌環境審議会の座長/会長も…

Practical Science for the Environment
School of Environmental Science, Hokkaido University

